



令和4年 謹賀新年



会長 武藤光一

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会

新年あけましておめでとうございます

潮 騷

号 52 号
令和 4 年 1 月 1 日

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会
〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目五
海事センタービル
電話 〇三・三三三三・〇六六二
FAX 〇三・三三三三・〇六八二

皆さま方におかれましては、おすこやかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症のまん延により、国民生活および国民経済に甚大な影響を及ぼしました。ワクチン接種が進み、感染者数も減少し、明るい兆しも見えますが、オミクロン株による感染など、未だ予断を許さない状況とされます。くれぐれも感染予防には細心の注意を払い、ご自愛ください。

当会の事業活動も制約を受け、昨年5月12日に開催を予定していた第50回戦没・殉職船員追悼式は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、慎重に検討した結果、残念ながら一昨年に引き続き昨年の開催も延期することとなりました。本年5月には安全・安心な追悼式が開催できることを心より願っております。

追悼式は中止となりましたが、終戦記念日には私をはじめ当会役員等少数人数で献花式を行い、戦没・殉職船員を慰霊・追悼いたしました。

第47回「戦時徴用船遭難の記録画

展」は、新型コロナ感染防止策を徹底した上で、8月19日から29日まで静岡市民文化会館において開催し、多くの来場者に戦争の悲惨さ、不条理さ、平和の尊さを感じていただけたものと思います。

当会は、先の大戦で戦禍に倒れ尊い犠牲となられた戦没船員と、戦後のわが国の復興を支えてきた海運・水産業のなかで不幸にして海難や労働災害にあわれ殉職された船員の慰霊・顕彰と遺族援護を目的に活動しています。

今日、海運・水産業も大きく変貌し、船員を取り巻く諸環境も大きく変わりましたが、私たちが享受している平和と繁栄は、戦没・殉職船員の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、私たちは決して忘れてはなりません。

終戦から76年が過ぎ、戦争を体験しない世代の増加などにより、戦争への意識が薄れつつありますが、私たちは、二度とあのような悲惨な戦争を繰り返さないためにも、戦没・殉職船員への慰霊・顕彰事業の重要性を広く国民に伝えていく必要があると思います。当会は、戦没・殉職船員への思いを絶やすことなく、慰霊・顕彰と、ご遺族の援護に一層の努力を続けてまいります。

皆さま方におかれましては、本年も旧年にならぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

終戦記念日献花式

終戦記念日献花式は、令和3年8月15日(日)、「戦没船員の碑」で執り行う予定で、観音崎京急ホテルに集合したが、あいにく前線の影響による猛烈な風雨のため「戦没船員の碑」での献花式は急遽取り止め、観音崎京急ホテルで献花式を執り行った。黙とうを捧げ、戦没船員・殉職船員の御霊の鎮魂と安らかなることを祈るとともに海洋永遠の平和を誓った。

武藤光一会長はじめ、前職および現職役員ならびに評議員、海事関係者ら40人が参列した。





静岡市民文化会館

戦時徴用船遭難の記録画展は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言発令中での開催となった。

展示室への入場に当っては発熱状況のチェック、マスクの着用、手指の消毒を徹底する等、感染防止対策を講じ入場者の安全確保に努めた。

記録画展は、これまでと同様に貴重な記録画を通して、ご遺族をはじめ多くの皆様に戦時徴用船乗組員の悲惨な実相をお伝えし、戦争の悲惨さを実感していただくとともに、平和の尊さを再認識してもらうことを目的に、日本殉職船員顕彰会が全国を巡回して開催している。

先の大戦で兵隊や軍需物資、資源などの輸人物資を運ぶため民間の船と船員のすべては国の管理のもとに戦時徴用された。殆どの民間の商船は、丸腰（非武装）で満足な護衛もつかない海上輸送に従事し、敵潜水艦の魚雷の絶好の標的となって、海運・水産で働く6万余人の船員が犠牲となるとともに、商船や機帆船、漁船等約7200隻・880万総トンを超える船舶が失われた。

大阪商船の嘱託画家、大久保一郎画伯は、戦況の劣勢で社船が次々に

撃沈されていった昭和17年（1942）、社長から「失われていく社船を記録に残してほしい」と指示を受け、戦時統制下の厳しい状況の中、生還した船員たちから、沈没する船の様子、船員の遭難状況など戦場の生々しい証言を克明に聞きとって、忠実に記録画として密かに描き残した。

大久保画伯が描いた30号の記録画は、終戦直後のかん口令や復興の混乱の中で行方不明になっていたが、昭和57年（1982）に発見され、これを修復し37点の記録画を公開することとなり、昭和57年（1982）12月、東京日本橋の三越本店で第1回記録画展を開催した。

以来、北海道から沖縄まで、今回で31カ所・47回目、静岡市では3回目の開催となった。

123人が来場

多くの来場者を迎えるため、顕彰会のホームページでの周知と海事関係団体の広報紙、業界紙などに開催案内を掲載していただくとともに、各行政機関、海事関係団体、マスコミ、美術・博物館や静岡市近隣の中学校、高等学校、公民館、図書館などにポスターの掲示、リーフレットの配布依頼など、周知・広報活動を幅広く行った。

コロナ禍にもかかわらず、ご遺族の方々をはじめ近隣の一般市民や遠方からも、123人が来場した。



大阪商船貨物船「ありぞな丸」宣伝用絵葉書の原画を前に、昭和31年（1956）67歳

大久保一郎画伯（1889-1976）

明治22年 大阪市富島町（現在の西区川口）で生まれる。

大正15年 大阪商船（現株商船三井）の嘱託画家に採用、初仕事に南米移民船「らぶらた丸」を描く。以後、同社の宣伝用絵葉書、航路案内、広報紙、ポスターの絵とデザインを担当する。

昭和17年 大阪商船、岡田永太郎社長の命により、同社の戦時徴用船最期の記録画を描き始め、終戦までに油彩30号約80点を制作する。

昭和51年 1月19日自宅にて死去、享年86歳。

昭和57年 旧大阪商船本社倉庫で大久保画伯の遺作37点が発見され、絵画修復家黒江光彦氏により修復。12月に東京日本橋・三越本店で第1回記録画展を開催。6日間の来場者は9000人。

知られざる民間船舶の悲劇 静岡で開催

戦時徴用船遭難の記録画展

第47回「戦時徴用船遭難の記録画展」を、8月19日から8月29日まで、静岡県静岡市の「静岡市民文化会館」で開催した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による緊急事態宣言にもかかわらず、123人の方々が来場し、壮絶悲惨な戦没船と船員の記録画を熱心に見入っていた。

記録画から受けた感動・感想

来場者のうち 23 人の方々からアンケートとともに記録画から受けた感想が寄せられた。その中から、来場の動機と感想の一部を紹介します。



20代の学び

■男性（静岡市）ツイッター

実物の油絵は迫力のあるもので、戦争被害の悲惨さが伝わってきました。近くの会場で見学が出来て、貴

重な機会となりました。ストーリーもさることながら、海や波の描写が良く生きているかの様で、とても引き込まれました。

■男性（東京都新宿区）ツイッター

24日は閉展時間ギリギリで訪問したところ、ご親切に30分ほど延ばして拝見させて頂き、ありがとうございます。

そのうえで、多くの企業の定時が17時から18時頃であることを考えますと、退勤から展示場までの移動などを踏まえても、多くの勤労者は早くて18時頃の展示場到着が一般的と思われると思います。視覚資料など、フルパッケージで巡視するのに2時間、足早に済ませて30〜60分かかるとすると、閉展の時間を少なくとも1時間、できれば2時間後ろへ延ばして頂く、より多くの一般の方の目にも触れる機会を拡げることができ、貴財団の運営趣旨にも適うのかなと思慮しました。

また、今回のような大規模都市中心市街エリアの展示場ではあてはまりませんが、地方小都市の少々中心市街から外れたエリアですと、路線バスや乗合タクシーなど、自家用車以外でのアクセスと親和的な展示時



間ですと、限られた旅程のなかで切り捨てる訪問先とならずに良いかと思えます。（北海道や四国の郷土史料館・博物館はこの辺りの配慮に乏しく涙をのんだ経験が多々ありました。）

改めて、大変親切に対応していただきましたスタッフの方にお礼申し上げます。

このようなコロナ禍の世でひろく活動や展示を知らしめるご苦労いかにばかりと思います。残り少ない開催日ですが、頑張ってください。応援しております。

■男性（静岡市）ポスター（文化会館）

若い人の多くが知らない戦争の姿です。戦争が良いか悪いか、自衛隊

や核は必要か不要か、そんな主語の大きな雑な議論の前に、こうした事実や歴史を正しく学ぶことが不可欠です。是非、今後もこのような企画を続けてください。

40代の感想

■男性（東京都日野市）ツイッター

いくつかの絵画については、インターネットや書籍で拝見したことがあります。しかし、やはり「本物」の迫力はまったく違いました。年に一度、1〜2週間の展示ではもったいない。ぜひ常設、もしくは長期（1カ月以上）の展示を期待したいところです。





来る良い展示でした。

■男性（愛知県一宮市）

友人、知人、家族に聞いて
貴重な絵画を拝見できて、とても
良かった。

50代の思い

■女性（東京都中野区）

チラシを見て（掛川市の図書館）
叔父が鎌倉丸で亡くなったので関
連資料があればと来しました。
「太平洋戦争 失われた日本船舶
の記録」に鎌倉丸の記載があったの
で転記させていただきました。

■男性（横浜市）ツイッター

新型コロナウイルスの影響で公開
するタイミングが悪かったですね。
コロナウイルスが相手なので仕方な
いのですが。
数年後、タイミングが合えばまた
見学に行きます。

■男性（東京都中野区）ツイッター

これからも続けてほしい。若い学
生にも見てほしいですね。SNSを
活用するのも良いと思います。

■男性（愛知県一宮市）

友人、知人、家族に聞いて
一部の絵画が残っていないことが残
念ですが、当時の雰囲気が伝わって

大久保画伯の絵は、船が沈んだ時
にどのように船員が最期を向かえた
かをありありと見せてくれ、胸が
いっぱいになりました。
叔父は横須賀海軍であったので、
観音崎の碑には行かなければならな
いと感じました。
貴重な絵の展示企画をありがとう
ございました。

■女性（静岡市）

友人、知人、家族に聞いて
大変貴重な資料を見せていただき
ました。戦後生まれの者にとって戦
時徴用船についてはあまり知られて
いないので、とても勉強になりました。
特に印象に残ったのは、次の2
点です。



1点目は、時々見かける戦争の船
の絵には人の姿が描かれていないの
で（軍艦を除く）、そこで人々がど
のような体験をして亡くなっていつ
たのかと、リアルに感じるものが今
日はできました。

2点目は、戦争というと軍艦ばか
りが思い出されますが、実際に兵士
を運んでいたのは、多くの民間の船
だということがわかったことです。
そもそも陸軍の兵をどうやって運ぶ
のかということも知らなかった。海
軍が運ぶわけではなく、陸軍や民間
船が圧倒的に多い陸軍兵を運んだと
いうことを学べたのも大きいです。
今も海に眠る遺骨が早く戻ること
を願います。



■男性（静岡県周智郡）
中日新聞を見て

祖父が鹿児島沖で輸送船に乗って
いる時に、魚雷でやられて亡くなっ
たと聞いていたので、今回の絵を見
て、このような状況で亡くなったの
かと思うと「つらい」の一言です。

■男性（静岡市）

ポスターを見て（静岡市民文化会館）
毎年8月には、今の平和に感謝し
つつ色々な戦争関連の催しへ足を運
びます。
徴用船については初めて見ました
が色々と考えさせられました。
焼津の漁船もだいぶ戦争に使われ
た事も聞きました。ありがとうございます。



60代の憤り

■女性（静岡市）

チラシを見て（生涯学習センター）

NHKの番組で戦時中、戦時徴用船として遭難した船舶が多数あった事を知った。

正しい記憶ではないかも知れないが、焼津市からも物資運搬等として多数の船や人員が徴用されていたと思う。何年前かのNHKの番組で初めて知った。「焼津島」と命名された東南アジアの島もあったと思う。これらの記憶を埋没させてしまふのは大変残念な事と思われる。

機会がある限り、こういった展示会には足を運んで行きたいと思う。もっと人目につく、市役所ギヤラ

リーとかで展示できないものか？

■男性（愛知県豊橋市）

顕彰会からの案内はがきで

2回目の観覧ですが、今年は自宅も近いので新幹線で来ました。

描かれた一瞬一瞬にそこにあつた命が愚かな戦争と政治によって消えていった事実。何度拝見しても心に迫ります。

何度拝見しても心に迫ります。

■男性（埼玉県東松山市）ツイッター

大久保一郎画伯の画集を入手してから、原画を見たいと思っていました。

実物はより深く、胸に迫るものがありました。二度とあつてはならないと祈るばかりです。

■男性（静岡市）

ポスター・チラシを見て（市美術館）

多くの民間船舶が攻撃されたこと、改めてその数の多さに驚く。

「病院船」と明確に判る（白色、赤十字）のに、魚雷、空襲により沈没してゆく不条理。米軍の「人道に對する罪」、原爆も、各都市の爆撃も含めて怒りを覚える。

今また、安倍、自民党政治のより戦争のできる国に戻ってしまった。日本の将来が案じられる。

■男性（東京都葛飾区）ツイッター

大戦中の商船模型の製作を始める

70代の怒り

■男性（静岡市）

ポスターを見て（市民文化会館）

以前より、大久保画伯の戦時徴用船の「画」について承知はしておりましたが、まだ拝見する機会がありませんでした。本日、初めて見せて頂きました。

改めて戦争について考えました。旧軍人の方々と同等の働きをして「戦死」をなさった方々への、世の関心の薄さにもかねてより思いを致しております。今後ともこの「画」を通して是非、多くの方々に「戦時徴用船」を知って頂きたく思います。本日はありがとうございます。

■女性（静岡市）

イベントニュースを見て

会場DVD（太平洋シーレーン作戦）を観たが、はじめから勝目のない無謀な戦争で、失ったものばかり知れないことと思う。

戦争は絶対にしてはならない。歴史を教訓にしなければならぬ。

■男性（静岡市）

ポスターを見て（市民文化会館）

いかに無謀な戦いであったかがわかった。

客観的に見る事ができなかった。その意見を表明することができなかったのが問題。

80代以上の嘆き

■男性（静岡市）

ポスターを見て（市民文化会館）

小生、昭和6年生まれの90歳。昭和14年頃と思うが、高千穂丸に乗船して、神戸より台北、基隆へ。





観音埼灯台

遺児たちを守る支援制度 殉職船員遺族援護

遺児へ援護金を支給

日本殉職船員顕彰会の設立にあたって、『戦没船員の碑』が昭和46年に建立されてから10年間、戦没船員追悼式を毎年5月に執り行っていました。この式典が戦没船員の追悼に限られていたことから、同じ海の職場に命を捧げた商船や漁船等の殉職船員の慰霊についても配慮してほしい要望が高まりました。

これを機に、すべての殉職船員に慰霊の誠をあらわし、その業績を顕彰するとともに、海洋永遠の平和を祈念するための『戦没・殉職船員追悼式』を国民的行事として行うことにより、国民の海洋精神の高揚を図り、海洋立国の認識を深めること

を目的として、戦没・殉職船員の業績調査と、その功績を後世に伝え、戦没・殉職船員遺族の援護にあたるために、昭和56年4月に「戦没船員の碑建立会」の事業を継承して、財団法人として当会が発足しました。

当会の殉職船員遺族援護事業は、昭和58年に外航船13人・内航船7人の殉職船員遺児に対して給付が行われてから、平成2年の外航船59人・内航船63人・旅客船13人・その他9人をピークに漸減しています。

海難や労災事故はあつてはならないことですが、殉職船員遺児援護制度を知らないために苦境におかれていては大変です。

個人情報保護の関係から事故情報を取りにくい社会情勢にあります。船社や業界関係団体の積極的なご協力をお願いいたします。

返還義務のない制度

当会の殉職船員遺族援護事業は、商船などに乗船中、海難や労災事故で殉職した船員の遺児に援護金を給付する制度で、返還の義務はありません。

支給額は1人月額8千円のほか、入学記念品代として小学校入学時に3万円、中学校入学時と高校入学時には、それぞれ1万円を給付します。支給期間は、遺児が生まれてから義務教育および高等学校を終了するまで。詳しくは、当会事務局へお問い合わせください。

漁船乗組員の遺児の方は、漁船海難遺児育英会（☎03・3518・6121）が援護事業を行っておりますので、お問い合わせください。

殉職船員

ご遺族のからのお便り

殉職船員ご遺族の方々からのお便りを紹介します。

■織田幸恵さん（広島県）

いつもお世話になっております。ずっと続く緊急事態宣言の中、おうち時間が長くなる夏を過ごしました。ワクチンの接種もドキドキ。こんな時だからこそ、お互いに思いやる言葉の大切さと、いつも見守ってくれていてありがとうございますという心の大切さに気づきました。

■佐藤亜希さん（青森県）

一番上のお姉ちゃんは、無事就職が決まり一安心しました。春輝は10月からの部活再開を楽しみにしています。早くコロナが収束してくれたらと願うばかりです。



戦没船員の碑にある、神戸高等商船学校練習帆船・進徳丸の左舷錨

お詫びして 訂正いたします

昨年8月に配布いたしました、「潮騒51号」（令和3年8月1日発行）の10面に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【潮騒51号】9面・10面の訂正版を本号（52号）に添付してありますので、差し替えていただきますようお願いいたします。

皆様のご厚情に感謝申し上げます

令和 3 年 7 月 1 日以降、令和 3 年 10 月 31 日までの間に、次の方々に新たに協賛会員として加入いただきました。

また、次の皆様からご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。
 本会の事業運営は、基本財産の運用益のほか、会員からの会費や寄付金、海運・水産・旅客船などの会社および海事関係団体からの会費や補助金などで、戦没・殉職船員の慰霊・顕彰とご遺族への援護事業を支えています。

会員制度には、賛助会員と協賛会員があります。

■ 賛助会員には、「法人」と「個人」があり、年会費は◎法人賛助会費 110 万円、◎個人賛助会費 110 万円をお願いしています。

■ 協賛会員は「個人」にお願いしているもので、年会費は 103 千円です。

新たな賛助会員

(順不同)

荒谷 道郎様 (神奈川県横須賀市)
 田中あずさ様 (大阪府高槻市)

一般寄付金

(順不同)

武田 綾子様 (東京都杉並区)
 荒谷 秀治様 (神奈川県横浜市)
 角本 稔様 (兵庫県神戸市)

終戦記念日供花料

(順不同)

宮越 和子様 (千葉県佐倉市)
 多胡 明美様 (東京都小金井市)

知られざる民間船舶の悲劇

戦時徴用船遭難の記録画展

寄付金

(順不同)

山本 勝久様 (神奈川県海老名市)
 新井 基一様 (神奈川県横浜市)
 長主 正也様 (東京都葛飾区)
 古賀 秀人様 (東京都町田市)
 小林きよみ様 (千葉県市原市)
 井口 義久様 (静岡県静岡市)
 大塚 正諭様 (静岡県静岡市)
 板垣 貴洋様 (愛知県一宮市)
 新井 隆様 (東京都中野区)
 城野 紫峯様 (静岡県沼津市)
 植松新世朗様 (神奈川県横浜市)

寄付金に対する

税制上の優遇措置について(お知らせ)

当会は、平成 23 年 4 月 1 日に「公益財団法人」に認定されたことにより特定公益増進法人に該当することになりました。さらに、平成 23 年 10 月 27 日(令和 3 年 10 月 17 日更新)に「税額控除対象法人」の証明を受けたことから、**当会に対する寄付金は、税制上の優遇制度が認められ、確定申告を行うことにより、「所得控除」もしくは「税額控除」が受けられます。**なお、**ここでいう寄付金は、賛助会費・協賛会費・追悼式の献花料・終戦記念日の献花料および寄付金をさします。**

所得税の軽減につながるためぜひ活用ください。
 「所得控除」「税額控除」を受ける際には、当会が発行する「領収証」「公益認定書(写)」「税額控除に係る証明書(写)」が必要になります。例年 11 月にお送りしていますので大切に保管してください。

①個人の方の寄付の場合

「所得控除」

所得税率が高い高所得者の方は減税効果が大きくなります。

寄付金額

上限は年間所得の 40%

-2千円=

所得控除額

「税額控除」

小口の寄付にも減税効果が大きくなります。

寄付金額-2千円

上限は年間所得の 40%

×40%=

税額控除額

上限は所得税額の 25%

「所得控除」と「税額控除」については、寄付者の所得額や寄付金額によって、選択する控除方法により控除額が変わります。詳しくは確定申告の際に税務署にお尋ねください。

②法人(民間企業等)の寄付の場合

一般の寄付金の損金算入限度額とは別枠で、損金算入ができません。詳しくは、税務署、税理士にお問い合わせください。

戦没船員の功績等の調査

事例紹介

本会の事業の一つに戦没船員の功績等の調査があります。先の大戦において戦時徴用船で輸送業務にあたり、尊い命を犠牲にされた戦没船員は分かっているだけで6万6433人のほり、横須賀市の神奈川県立観音崎公園にある「戦没船員の碑」には浄書した名簿が奉安され、毎年5月中旬の追悼式典で戦没・殉職船員の慰霊を行っています。ご遺族をはじめ親類縁者や関係者の中には、いまだ知らない方も多く、戦没の状況まで知っている方は、さらに少ないといえます。本会は、こうしたご遺族の方々からの問い合わせにお応えし、調査情報の提供を日常の業務として行っています。その中から本号で事例を紹介します。

■男性（神奈川県）

祖父が、船で戦死しているとした情報が無い。乗船していた船、沈没の情報等があれば教えてほしいと電話で問い合わせがあった。

【回答】

お問い合わせをいただきました、おじい様は別紙のとおり当会の戦没船員名簿に登録され、神奈川県立観音崎公園「戦没船員の碑」（横須賀市）に浄書した名簿が奉安されております。

おじい様は、「東崗丸」（海軍徴用船（B）、大連汽船所屬、貨物船、4,180総トン）に機関士として乗船されていました。

「東崗丸」は昭和19年10月1日、便乗者120名と軍需物資を積んで高雄からマニラに向けて出港。航行中の10月12日14時10分頃、米潜水艦「RAY」の魚雷攻撃によりフィリ

ピン・ミンドロ島カラビテ岬北方12キロ付近IIカラビテ海峡（カラヴィテ海峡）（北緯13度32分、東経120度21分付近）で沈没。船員29名全員戦死。便乗者120名全員が不明となっております。

おじい様、「東崗丸」に関する資料をお送りいたしますので、ご査収ください。

当会では、毎年5月中旬に観音崎公園「戦没船員の碑」で、戦没・殉職船員追悼式を挙行しております。ご案内状をお送りいたしますので、よろしければご参列ください。

令和2年、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、参列者の安全と健康を考慮し中止しました。

来年は5月中旬頃を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、式典の内容、日程などに変更がある場合もありますので、ご承知おきください。

知られざる民間船舶の悲劇

大久保一郎画伯遺作

第48回

戦時徴用船遭難の記録画展

■会期

令和4年7月9日④から7月19日⑤まで
 ・開館時間は、10時00分から19時00分まで
 ・初日の7月9日④は、13時00分開場
 ・最終日の7月19日⑤は16時00分に閉場

■会場

タワーホール船堀 展示ホール 1
 東京都江戸川区舟堀4・1・1

■主催

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会

東京都江戸川区で開催

タワーホール船堀 展示ホール 1

7/9~7/19

入場無料



魚雷攻撃により棒立ちとなって沈没する「ぶら志る丸」

*新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について
 政府・東京都のガイドラインに沿って対策を行います。ご協力をお願いします。